



新しい村議会議員9人が初登庁

村議会議員改選により当選した新議員9人が12月13日、改選後の初議会に臨みました。議会では、議長に永井一行議員(赤城原第二)、副議長に横坂末吉議員(大堀)

を選出。永井議長は就任にあたり「村民の皆さまの声を十分に受け止め、活力ある村づくりに向け、また、開かれた議会を目指して努力してまいります」と述べ、

今後の決意を示しました。この日は、議会運営委員会、総務民生常任委員会、文教産建常任委員会も併せて開催され、正副委員長がそれぞれ決定しました。



議会運営委員長
加藤 生
(常木)



副議長
横坂 末吉
(大堀)



議長
永井 一行
(赤城原第二)



議会運営副委員長
林 幸司
(池原)



文教産建常任委員長
林 祐司
(生越)



総務民生常任委員長
藤井 貞充
(永井)



総務民生常任委員
片柳 悦夫
(中野)



文教産建常任副委員長
阿部 孝司
(滝寺)



総務民生常任副委員長
高橋 隆雄
(吹張)

一年間の

在宅介護を労う

村では12月21日、寝たきりなどの高齢者を在宅介護している家族に介護慰労金を支給しました。

これは、毎年12月1日から翌年11月30日までの一年間、要介護度が4または5に相当する65歳以上の高齢者を継続して在宅介護している世帯に対して、家族の介護の労をねぎらい、在宅福祉の増進を図ることを目的に支給されています。

この日は堤村長が各家庭を訪れ、対象となった14世帯の家族に介護慰労金を手渡しました。



介護慰労金を受け取る家族

昭和中学ソフトボール部3人が県選抜入り

昭和中学校2年生の見城美月さん(宿)、若桑美空さん(鎌沢)、矢嶋桜子さん(森下中)が、ソフトボールのオール群馬選抜選手に選ばれました。



スラップ打法を磨く見城さん

これは、県内の有力選手による中学校女子ソフトボールの群馬県選抜チームで、3人は厳正な選考を経て代表メンバー入り。3月には、愛媛県で開催される全国大会(第14回都道府県対抗全日本中学生ソフトボール大会)に出場します。

3人は「堅い守備で県代表として貢献したい(矢嶋さん)、緊張しているけど走塁に自信があるので頑張りたい(若桑さん)、走り出しながら打つスラップ打法など小技を生かしたプレーで活躍したい(見城さん)」と抱負を話していました。

関工務所が

木製ベンチを寄贈

(株)関工務所と清和会(川場村)から12月7日、木製ベンチ10台を寄贈していただきました。

このベンチは、毎年、同団体が製作し村に寄贈いただいているもので、この日は清和会の鈴木忠志会長と関工務所の関真一代表取締役が来村し、南小学校に4台、役場に6台を寄贈していただきました。同小学校の内堀洋文校長は「木の温もりが感じられるベンチを寄贈いただきました。子どもたちのために有効に活用させていただきます」と話していました。

農業経営士、青年農業士に認定証

平成30年度群馬県農業経営士及び青年農業士認定書交付式等が11月16日、群馬県庁正庁の間で行われ、古澤実さん(松ノ木平第二)が農業経営士に、堤福夫さん(松ノ木平第一)が青年農業士の認定を受けました。

これは、農業の発展と魅力ある農村社会を築くための人材育成や、地域の実践的リーダーとしての活動を促進することを目的に知事が認定しているもの。古澤さんは、高度な知識と技術を有し、近代的な農業経営の実践や担い手の確保育成

などに熱意のある農業経営士として認定されました。古澤さんは「これまで培った野菜作りのノウハウを生かして、今まで以上に気を引き締めてやっていきたい」と農業への思いを語りました。

また、堤さんは将来の発展が十分期待できる経営を実践する、研さん意欲の高い青年農業士として認定証が交付されました。堤さんは「ハウレンソウ栽培にさらに力を入れ、大規模経営を目指して常に前進していきたい」とこれからの展望を語りました。



認定証を交付された古澤さんご夫妻と堤さん(右)



目録を手渡す鈴木会長と関代表取締役